

いつも健康であるための地域医療情報誌

観 光 町

メディカル通信

Vol.43
2025.1

発行 / 医療法人社団如水会オリーブ高松メディカルクリニック 高松市観光町649-8 TEL087-839-9620(代) FAX087-861-7079

ホームページ <https://www.olive.clinic/>



当施設連絡先

〈内科 受付〉

087-839-9620

〈ドック・健診〉

087-839-9630

新年明けましておめでとうございます

皆様明けましておめでとうございます。

二〇二五年(令和七年)がスタートしました。

今年は乙巳(きのとみ)「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年とされており、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年ともされています。

昨年は、メディカル通信の新年号で、飛躍する年となるよう祈念しましたが、一月一日に、能登半島でM7.6の大震災が発生、一月二日には羽田空港で日本航空の旅客機と海上保安庁の航空機が衝突し両機が炎上する大惨事、と立て続けに災害・事故が起き、未だに復興が十分なされていない状況です。

また、酷暑、大雨による災害、物価高、円安等も重なり、厳しい一年となりました。一方、スポーツ界ではパリオリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍、野球の大谷翔平選手が満票で2年連続MVPを受賞するなど、明るい話題のあった年でもありました。

オリーブ高松メディカルクリニックは本年7月に10周年を迎えようとしています。外観はちょっぴり見栄えしない建物ですが、検査機器は大病院にも引けを取らないもので、予防医療に寄与出来ていると自負しているところです。

患者様、受診者様をお迎えする医師・スタッフにおいては、昨年も新たな人材を迎え、育成しつつ「ONE TEAM」の精神で接遇の充実を心がけています。また、医療サービスのみならず、年2回の防災訓練を行い、受診者様の安心安全のための準備も行っています。

二〇二五年も受診者の皆様がより一層、質の高い人間ドックや健康診断を安心して快適に受診して頂けるよう、また、満足していただけるよう、スタッフ一丸となつて尽力してまいります。

本年もご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。

人間ドック(健康診断)の満足度アンケートを行いました

予防医療センターでは、人間ドック・健康診断の受診者に2年に1度アンケートを行い、ドック(健診)を受診された方の満足度と今後の課題に関してご意見を伺いました。今回の内容も受診された方の満足度と名前呼称についてですが、前回と同じ受診者にお伺いしないよう時期を変えました。

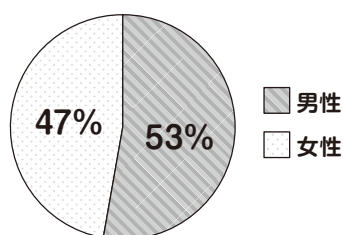
アンケートは2024(令和6)年7月1日～7月22日にドック(健診)に来られた500名で、1日・2日ドックや協会けんぽの生活習慣病健診を受けられた方です。ドック(健診)がほぼ終了した時点で回答をお願いしました。

今回もアンケート内容はシンプルに各部門のスタッフの案内・対応の評価とし、A4用紙1枚で準備しました。また、当センターの検討課題であった受診者呼称(番号かお名前か)について、再度ご意見をお伺いしようということになりました。(現在は名前呼称で、希望されない方は番号呼称で対応するようにしています)

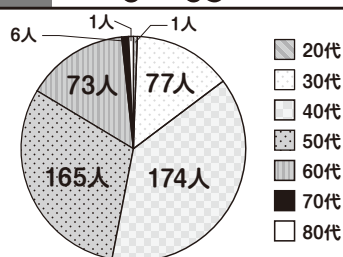
ドック(健診)の流れの中で関わるスタッフを①受付、検査案内(事務)、②採血、計測、診察補助、保健指導(看護師・保健師)、③心電図、腹部エコー、レントゲンなどの生理機能検査(臨床検査・放射線技師)、④診察、結果説明、内視鏡検査(医師)の4つに分けて、各部門のスタッフや医師の接遇(案内・説明のしかた・言葉遣い・身だしなみなど)を5段階評価でチェックしていただきました。

また、受診者への呼称については、現状の名前呼称、番号呼称、どちらでも良い、の3つの中から回答していただき、その理由もお聞きました。結果については、以下の通りです。

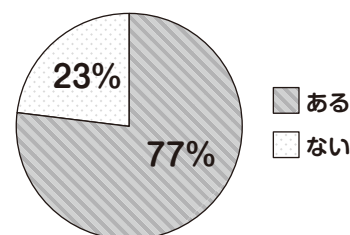
Q.1 性別



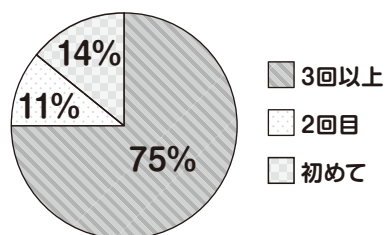
Q.2 年代



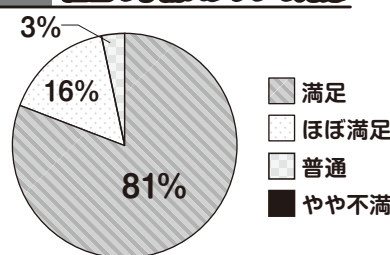
Q.3 他施設の利用



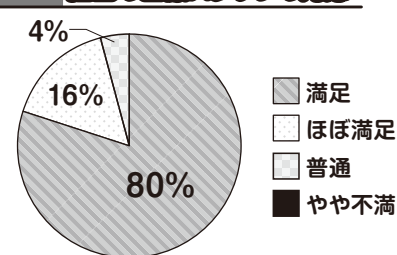
Q.4 当施設の利用回数



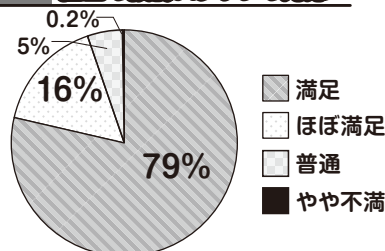
Q.5 受付や検査の案内などを担当の事務スタッフの対応



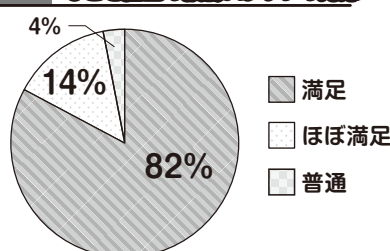
Q.6 採血・視力・聴力などを担当の医療スタッフの対応



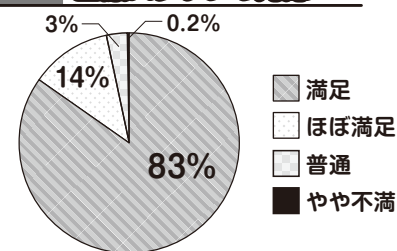
Q.7 心電図・腹部エコー検査などを担当の技師スタッフの対応



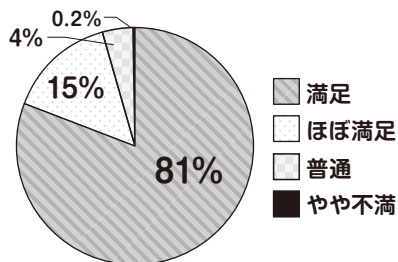
Q.8 胸部・胃X線・CT・マンモグラフィなどを担当の技師スタッフの対応



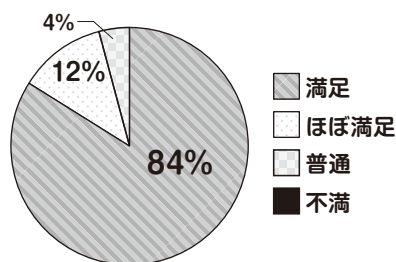
Q.9 胃内視鏡を担当の医療スタッフの対応



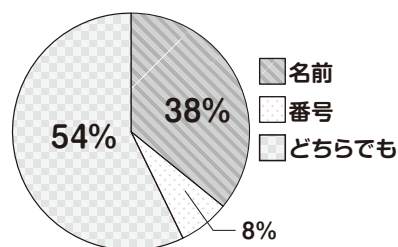
Q.10

診察・結果説明・内視鏡を
担当の医師の対応

Q.11

婦人科健診担当の
医療スタッフの対応

Q.12

今後の呼び方は
何がいいですか

受診者は男性がやや多く、他施設でのドック（健診）も経験されているかたがほとんどでした。また、当センターを3回以上利用いただいたリピーターが半数以上を占めていました。スタッフの対応による満足度は概ね満足いただいておりますが、これからも安全に検査を進め、こまめな対応を心がけていきたいと思ひます。特に胃内視鏡検査は緊張される方が多く、スタッフの声かけの重要性を感じました。また、夏の暑い日が続いていて空調温度設定ではむしろ寒かったというご意見もあり、環境整備に留意してきたいと思ひます。

●今後の対応について お聞かせ下さい。

①名前で呼んでほしい理由

- ・わかりやすい・気づきやすい(50名)
- ・番号を忘れる。気づきにくい(14名)
- ・番号は機械的ですので名前が良いと思ひます。

②番号で呼んでほしい理由

- ・他の人に名前を知られたくない(6名)
- ・同性の方や呼び名が似ている方と混同するおそれ。

③どちらでもいい

- ・個人情報の気になる方もいると思ひますが、本人確認の問題もある為、どちらでも可。
- ・番号だと不安だから(聞きのがすなど)
- ・名前だと聞き漏らしがある気がする。

●今回のドック・健診を受けられた感想など ありましたらお聞かせください。

○3F 診察

- ・診察の先生の説明がわかりやすかった。

○内視鏡

- ・スタッフの皆さんがとても親切で毎年オリーブを指定しています。不安な胃カメラも背中をさすって頂けてとても安心しました。

○その他

- ・スムーズで丁寧。待ち時間が短い(27名)
- ・気遣っていただいている言葉に安心します。
- ・いつも丁寧な対応ありがとうございます。ゴミ一つなく清掃の方に感謝です。
- ・待ち時間がいつもより長かったのもあり、冷房が効きすぎて体が冷えました。
- ・新たな検査がありました。初めてだと思いますが良いことだと思います。他の所より検査内容の充実と説明がていねいで良いです。



受診者呼称については、どちらでもよいが半数以上ですが、次に名前呼称を希望される方が多く、名前の方が呼ばれた時に分かりやすく、安心や親しみが持てる、番号を聞きもらさないようにと思うと落ち着かない、というご意見がありました。また、番号呼称希望の方は、同じような名前と混同しない、人前で名前を呼ばれることに抵抗がある(個人情報)というご意見をいただきました。当センターでは、番号呼称希望の受診者の方には、番号でお呼びする体制を整えておりますので、受付時に申し出ただけであれば対応いたします。そして、名前でも番号でもどちらでお呼びしても違和感のないような環境づくりにも引き続き取り組んでいきたいと思ひます。アンケートにご協力いただいた受診者のみなさまありがとうございました。引き続き満足していただけるドック（健診）施設を目指して取り組んでいきたいと思ひます。



健診事務担当(健康推進課)からのお知らせ

人間ドック・健康診断のお申し込みについて

当センターでは、健康診断のお申し込みを随時受け付けております。
お問い合わせの際に、こちらからお伺いする内容は次の通りです。



1

当センターご利用の有無

初めての方は、以下の情報が必要です。

♡ 氏名、生年月日、性別

♡ ご加入の健康保険組合や事業所名称

♡ ご住所、ご連絡先

※ご加入の健保組合により助成制度がある場合がございます。(詳細は次号で紹介いたします)

♡ 保険証の記号・番号



令和6年12月より健康保険証の新規発行が廃止され、マイナ保険証の本格利用が始まっています。マイナ保険証(マイナンバーカード)には健康保険証の記号・番号の記載はありません。令和6年9月より「資格情報のお知らせ」が各健保組合より送付されています。資格情報のお知らせに記号・番号が記載されているので、こちらでご確認ください。またマイナポータルでも資格情報の確認ができます

2

ご希望のコース

人間ドック、生活習慣病予防健診、会社の定期健康診断など。

ご加入の健保組合や会社によって、指定のコースや健診内容がありますのでそれをお伝えください。

3

ご希望の検査内容

特に内視鏡検査、婦人科検査の有無により曜日設定が変わります。

ご希望のコース項目内でも内容が選択ができる場合がありますのでご希望をお伝えください。
(例:内視鏡検査の経口or経鼻希望、乳がん検診のマンモグラフィーor乳腺エコー希望 など)

4

受診希望時期

日程については相談の上、決定します。

9、10、11月はご予約が大変混み合います。できるだけご希望に添えるようご提案させていただきますので、ご予約やご相談はお早めをお願いいたします。

健康診断・人間ドックのご予約日確定後、健診日の2週間前を目安に、ご案内書類、問診票、検査容器等を当センターよりお送りします。

緑色の大きな封筒(A4サイズ:角2封筒)が届きましたらすぐに開封し、内容をご確認ください。

オプション検査のご案内も同封しております。ご検討の上、受診日の3営業日前までに、お電話、FAX、メール等でご相談ください。準備の都合上、当日のお申し込みはお受けできません。

何かご不明点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

健康診断・人間ドック 予約直通→TEL:087-839-9630



治験センターからのお知らせ

..... 臨床研究と治験の違い

当施設では数多くの臨床研究及び治験を実施してきました。
そこで今回は**臨床研究と治験**の違いについて、解説していきます。

臨床研究

- ・人を対象に実施される医学系研究。
- ・病気の予防方法、診断方法、治療方法の改善、病気の原因や病気への理解並びに患者様の生活の質の向上を目的とします。

○観察研究:通常診療の範囲内での経過観察や結果のデータを解析する研究。

→多くのデータを集め、新しい知見を得るための研究です。

○介入研究:研究のために通常診療とは異なる投薬方法や検査等を行い、その有効性や安全性を検討する研究。

→新しい予防法や治療等を試み、従来のもものと比較して有効性を調べる研究です。

例:

① 高血圧患者を対象とした市販されている高血圧薬Aと高血圧薬Bを比較する研究

AとBでより効果的な薬のデータを得て、今後の患者様のより有効な治療法の発展に貢献する目的です。



② 糖尿病患者を対象とした食品研究

糖尿病患者様に研究で提供される食事を1日1食置き換えていただき、糖尿病が改善する効果があるか確認する研究です。



治験

- ・医薬品、医療機器等の承認を得るために実施される臨床試験。

・3つの相(フェーズ)に分かれています。

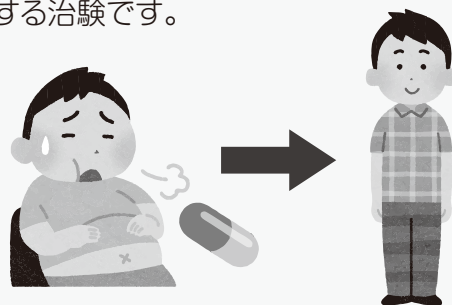
- ・第1相:健康な人を対象。
- ・第2相:少数の患者を対象。
- ・第3相:多くの患者を対象。

・なお、医薬品や医療機器が承認された後に実施する製造販売後臨床試験は第4相といいます。

例:

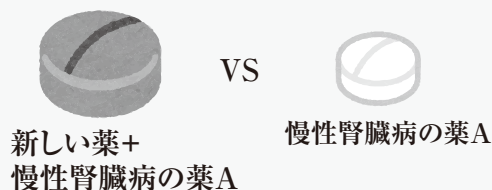
① 肥満症の患者を対象とした新しい薬を使用する治験

新しい薬の効果や副作用を確認し、新しい治療薬となるよう承認を目指します。ちなみに現在当施設で実施中の肥満症の治験は従来糖尿病患者に注射薬で使われているジャンルの経口内服薬で、糖尿病のない肥満症患者に使用して減量の効果を検討する治験です。



② 慢性腎臓病患者を対象とした治験で新しい成分が上乗せで入っている薬とすでに使用されている薬の効果を比較する治験

タンパク尿を軽減し、腎臓病の進行を遅らせる効果増強があるかを検討する治験です。



当施設では現在、高血圧患者様を対象とした臨床研究の募集をしています。血圧が気になっている方はぜひ医療スタッフにお声がけください。

43年間の看護師生活をふりかえって

前看護部長 鶴川 葉子

将来だれかの役に立つ仕事、経済的に自立できる仕事とを考え、大阪の看護学校に進みました。1981年に旧通信省の職域病院である大阪通信病院に入社し消化器、血液内科病棟(当時の第一内科)に配属されました。病院は、大阪環状線桃谷駅から徒歩5分のところにあり、交通のアクセスも良く、夜勤明けで、方々へ遊びに出掛けました。当時は職域病院で比較的のんびりしており、看護師のほとんどが看護学校からの先輩方で、先生方との勉強会、食事会等々、家族的で楽しかったです。今でも年に一度は気心知れた先輩、後輩と旅行を楽しんでいます。

2年後、地元の高松通信病院へ転勤し、その後41年間勤務を続けました。

高松通信病院⇒NTT高松病院⇒NTT西日本高松病院⇒NTT西日本高松診療所⇒オリーブ高松メディカルクリニックと、私たちを取り巻く時代の流れと共に施設名も5回変わりました。

内科、小児科、外科、病棟、手術室、内視鏡室を経験し、その間に結婚、出産、子育てを家族のサポートを受けながら仕事を続けることが出来ました。なかでも内視鏡室勤務、手術室勤務は夜間の呼び出しもあり大変でしたが、看護師として大きく自信を持たせてくれました。

職場のターニングポイントになったのは、NTT西日本の方針でドック及び健診を中心とした医療機関へ移行した平成13年です。会社の方針で病院から診療所になり福井先生を診療所長に迎えました。

当時私は、職場で労働組合の病院分会長(社員の順番で)をしており、労使関係云々もわからないまま福井所長、事務長、看護部長とNTT労働組合香川県支部の役員方と、今後の職場の在り方について話し合いました。赤字を抱えた病院は常に廃止の危機にあり、とにかくただただ病院の存続のために、福井所長を中心として何が出きるか模索しながら努力を重ねました。病棟だったフロアーをドック・健診センターにリフォームし、助産師、看護師、保健師、臨床検査技師、放射線技師、薬剤師、栄養士、事務方たちによる、平成の大改革でした。香川県の「本屋と言えばM書店、健診はNTT」と言われるようにと、試行錯誤しながらドック・健診センターが始動しました。

NTT社員のドックだけでなく、他企業の健診を受け入れるための営業努力、NTT労働組合の支援、お互いを信頼し、同じ目標に向かって業務を共有する運命共同体であった同僚、香川大学医学部や徳島大学産婦人科医局からの医師派遣、もちろん福井院長のご尽力のおかげで現在のクリニックがあると思います。

私は外来に移動し、外来のリフォームに携わり、先生方と日々の診療、健診後の精密検査、フォローアップ、外来健診の受け入れ、予防接種を年間のスケジュールとして、患者様に寄り添った温かみのある安心と信頼の看護を目標として業務に取り組み、令和2年に定年退職を迎えました。

その後、週4日、内科外来で仕事を続けてきましたが、想定外の新型コロナウイルス感染症対策等で多忙な毎日でした。スタッフの皆様にとって、今まで培ってきた私の経験が少しでもお役に立てていれば嬉しいです。

今思えば、泣いたり、笑ったり、怒ったりの奇跡の逆転劇、プロジェクトXのような仕事に関わって、有意義で楽しい看護師人生を送れたのではないかと思います。

大きな病気もせず、同じ職場で仕事を続けられたことが幸運でした。

良い人間関係に恵まれたことに心から感謝しております。ありがとうございました。

今後もオリーブ高松メディカルクリニック予防医療センターのますますの発展をお祈りしております。



新ドクター&新入職員 紹介



丁寧な診療で頑張ります。

非常勤医師（婦人科）
松井 佳子

- ◇趣味：ゲーム、犬と遊ぶこと
- ◇休日の過ごし方：基本 寝てます。
- ◇最近のお気に入り：国内旅行
- ◇好きな食べ物：和食
- ◇苦手なもの：虫全般



丁寧な内視鏡診療を
心がけています

非常勤医師（内視鏡）
佐々木 洸太

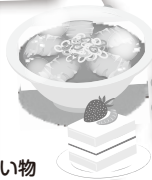
- ◇趣味：テニス
- ◇休日の過ごし方：公園
- ◇最近のお気に入り：瀬戸大橋記念公園
- ◇好きな食べ物：いちご
- ◇苦手なもの：湿気



親切、丁寧をモットーに
がんばります。

保健師
岡田 かおり

- ◇趣味：読書、国内旅行
- ◇休日の過ごし方：子供と遊ぶ、買い物
- ◇最近のお気に入り：バドミントン
- ◇好きな食べ物：ラーメン、甘いもの
- ◇苦手なもの：納豆



明るく楽しく、丁寧な
対応を心掛け頑張ります。

看護師（内科外科）
福家 明子

- ◇趣味：プチ登山
- ◇休日の過ごし方：友達とランチ
- ◇最近のお気に入り：パン屋さん巡り
- ◇好きな食べ物：豆類
- ◇苦手なもの：ドッキリ番組



当クリニックをご利用の際には
マイナ保険証をぜひご利用ください!



受診の際は、
マイナンバーカードを。

あなたのマイナンバーカードをお持ちいただければ、
同意することで、健診情報や処方された薬の情報などを見られるので、
医師もそれらの情報に基づいた診療が行えます。



厚生労働省

健康保険証は
12月2日以降
新たに発行されなくなります

マイナンバーカードの健康保険証利用（マイナ保険証）
を基本とする仕組みに移行します。

ただし移行後もお手元の健康保険証は、

有効期限までの間、最長1年間使用できます。

※後期高齢者後期高齢者医療保険加入者の方の有効期限は
2025年7月31日となりますのでご注意ください。

詳しくは **マイナンバーカード 保険証利用**



TOPICS

メディカルトリビューン誌(9月27日号)に第65回日本人間ドック学会学術大会(9月6~7日 パシフィコ横浜)での学会名変更記念シンポジウム講演内容が掲載されました。

■ 学会名変更記念シンポジウム

15:30~17:00

「学会が目指す学術活動の方向性」

座長：荒瀬 康司（虎の門病院 健康管理センター 顧問、ロイヤルクリニック）
那須 繁（特定医療法人財団 博愛会 理事長）

演者：学術活動のさらなる活性化を目指して

岩男 泰（慶應義塾大学予防医療センター 特別招聘教授）

学術活性化に向けて～編集委員会の立場も含めて～

井上 和彦（一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター センター長）

（こころの若い先生方へ～論文書こうぜ～

福井 敏樹（医療法人如水会オリーブ高松メディカルクリニック 院長（理事長））

学会主催の健診・予防医療統計調査研究の概要と展望（仮）

梶田 出（三菱京都病院 糖尿病内科・人間ドック科 顧問／国立病院機構

京都医療センター臨床研究センター 内分泌代謝高血圧研究部 客員研究員）



名称変更した人間ドック・ 予防医療学会の挑戦

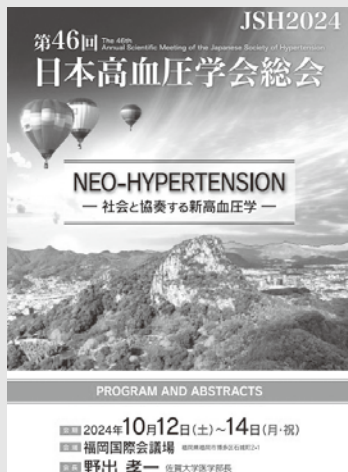
～健常者や若年者に関する
エビデンスの探求・発信を～

今年(2024年)4月1日、日本人間ドック学会は「人間ドック・予防医療学会」へと名称を変更した。改称を機にさらなる発展を目指す同学会だが、近年機関紙への掲載論文数が減少傾向にあり、学術活動を促す必要があるという課題がある。

オリーブ高松メディカルクリニック(香川県)理事長／院長の福井敏樹氏は、第65回日本人間ドック・予防医療学会(9月6～7日)の「学会名変更記念シンポジウム」で同学会の現状と課題について解説。「健常者や若年者に関する豊富なエビデンスを有していることは、本学会ならではの強みだ。学会員には予防医療の発展につながるエビデンスの探求と発信を切に願う」と呼びかけた。(掲載記事より抜粋)



「学会は複数の会場で並行して行われたためメイン会場ながら、聴衆はそれほど多くありませんでしたが、記事を書いて下さったライターの方には講演を聴いて感動しましたというコメントを頂きうれしかったです。ドジャースの大谷選手が活躍することも祈念しながらの講演タイトルとしましたが、2年連続のMVP受賞おめでとうございます！」が福井院長からのコメントです。



第46回日本高血圧学会総会が10月12～14日に福岡国際会議場で開催され(大会長：野出孝一先生(佐賀大学医学部長))、日本高血圧学会と日本人間ドック・予防医療学会との合同シンポジウム「ビッグデータ解析、AI予測から見てきた未来志向の保健指導の在り方」で、院長の福井がドック学会側の座長を務めました。

ドック学会からは、東京ミッドタウンクリニックの田口淳一先生と聖隷健康診断センター長の武藤繁貴先生が演者となって講演していただきました。

シンポジウム 35

ビッグデータ解析、AI予測から見てきた未来志向の保健指導の在り方

10月14日(月・祝) 8:20～9:50 第3会場

座長：福井 敏樹 オリーブ高松メディカルクリニック

市原 淳弘 東京女子医科大学内科

学会合同企画：日本人間ドック・予防医療学会



12月2日の四国新聞の健康新聞(毎月第一日曜に発刊)305号で、院長の福井が監修した特集記事「内臓脂肪蓄積の健康リスク」が5ページにわたって掲載されました。

四国新聞の健康新聞特集記事掲載に協力させていただいたのは10年以上ぶりでしたが、健康新聞特集記事はこれで通算4回目になるようです。香川県では購読者ダントツの四国新聞の健康新聞ですがもう第305号ということで、根強い人気があり、しばらく会っていなかった方からも記事を読みましたと連絡を頂いたりしたと院長が話されていました。



編集 後記

新年あけましておめでとうございます。今年の年末年始のお休みは曜日の並びにも恵まれ、9連休という方も多かったのではないのでしょうか。今号から人間ドック・健康診断のお申し込みから受診までの流れを分かりやすくお伝えする連載がスタートします。素朴な疑問・不安を解決し、安心して受診していただく助けになればと思っておりますのでご期待ください。当施設も今年で10周年を迎えます。さらなる飛躍の年とし、皆様に「オリーブに来て良かった」と感じていただけるよう職員一同精進してまいります。引き続きよろしくお願いいたします。